

16
251



北
一
覽
字

出
羽
越
後

始

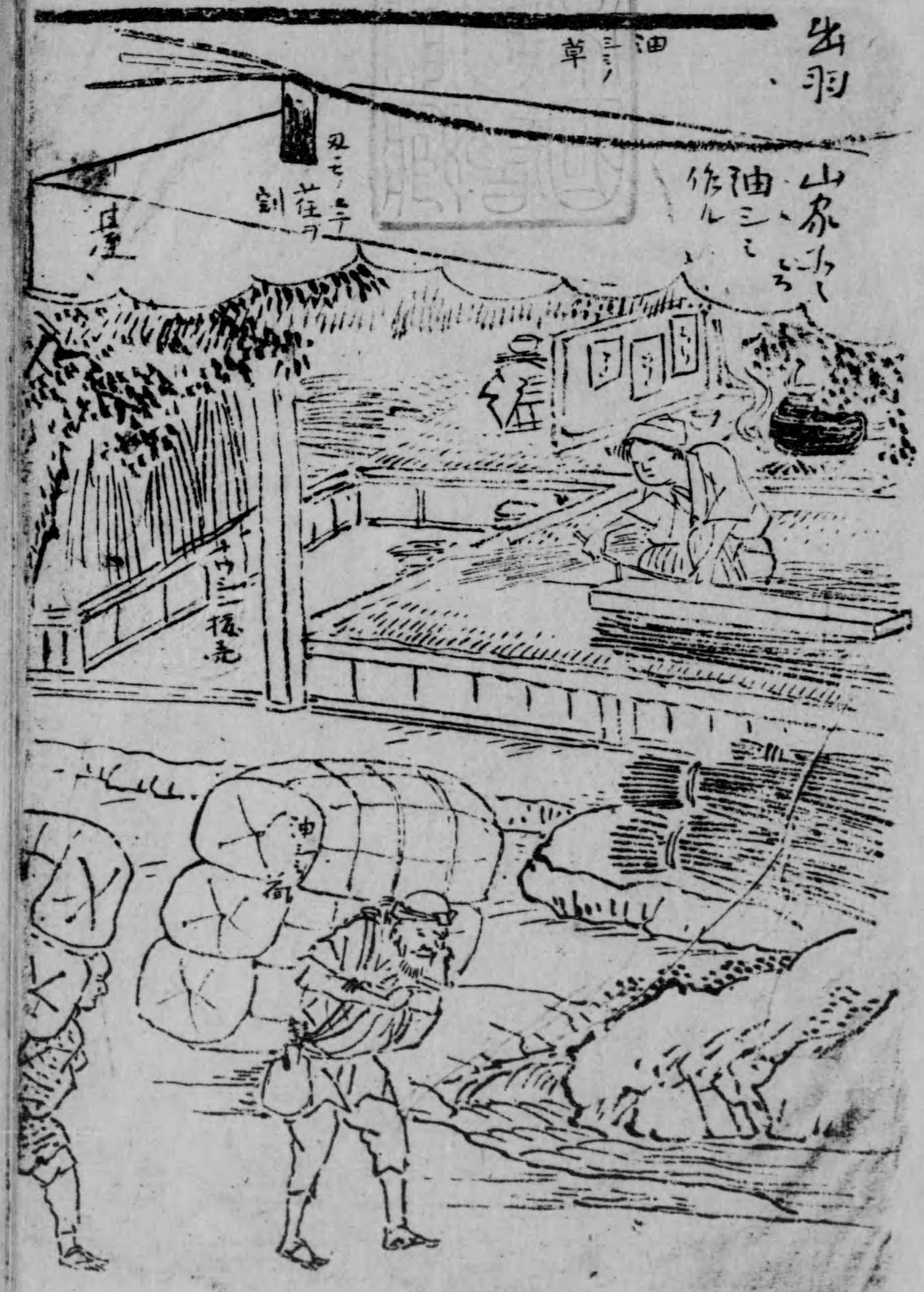


16
251

北國一覽寫

出羽
越後

雪旦



大正
13. 8. 30
内文

八月廿三日

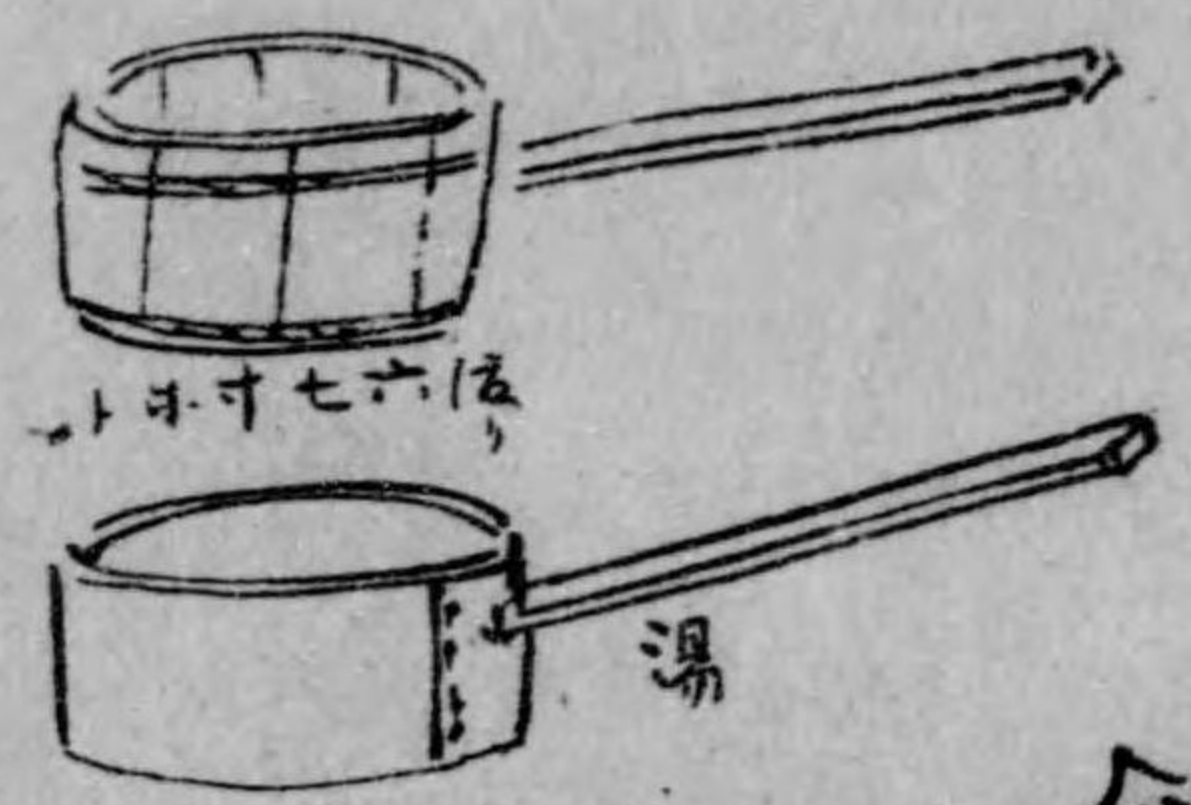
出羽

置玉郡赤十字村

赤十字温泉

米沢藩領地

熱湯泉



米沢藩領地



出羽玉部辺

蚕子

桑畑多^{クワノ木立}

菘畑多^{アブラナ}

邦人袴常^{キヌ}用^甲

羽^{千々子}羽^{カガシ}

女用^{女用}袴^用

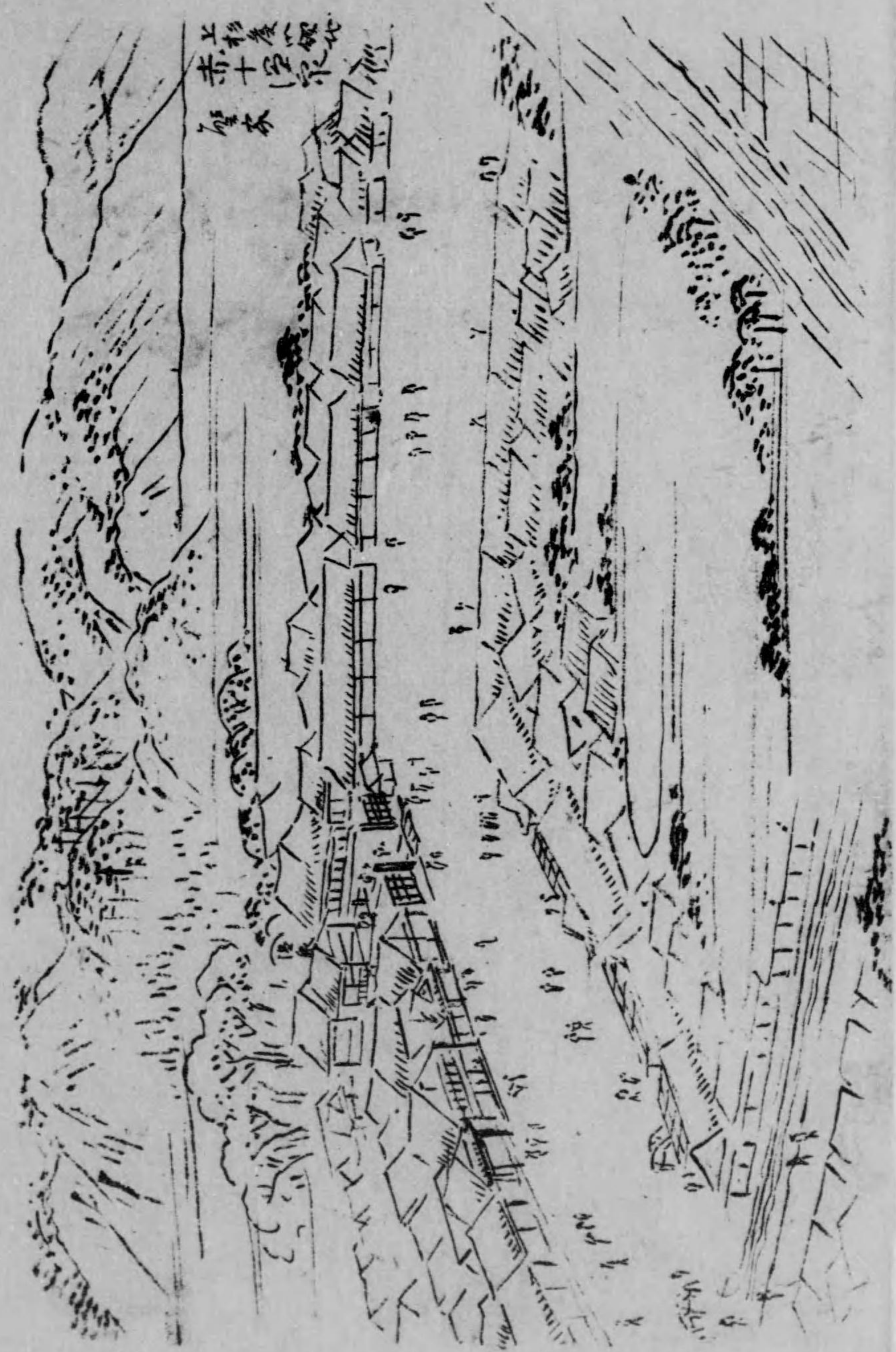
七^七六^六方^方袴^袴

ありひと^{ありひと}童^童七^七

自^自女^女七^七袴^袴



夕日種^{夕日種}花^花千^千子^子



北^北山^山泉^泉十^十五^五里^里



去赤羽
向奥列



奥列ヨリ
赤羽 越
米沢 越
難道ニ
八月廿日米沢ヨリ
赤木泊
廿五日赤井泊
廿六日国泊
廿七日山下
下國泊
右山中大難所食料
が乏泊代了り二百石
竹柄柄、糸糸
梅干一付三文
宿代二百文、赤羽有
奥赤羽ヨリ
一、二、三日、四、五日

奥列白不_レ西_レ戊_レ亥
 方_レ出_レ越_レ米_レ沢_レ峠_レ初_レ出_レ羽_レ路
 谷_レ峯_レ峠_レ之_レ乃_レ七_レ十_レ余_レ里
 步_レ行_レ之_レ越_レ後
 下_レノ_レ関_レへ_レ先_レ是_レヨリ
 折_レ字_レと_レ平_レ地_レ之_レ又
 川_レ舟_レ有
 是_レと_レ出_レ羽_レ路_レ步_レ行_レス_レ元
 羽_レ黒_レ山_レ湯_レ石_レ山_レ月_レ山_レト_レ云
 又_レ云_レ云
 比_レ辺_レ米_レ沢_レ領
 酒_レ法_レ夜

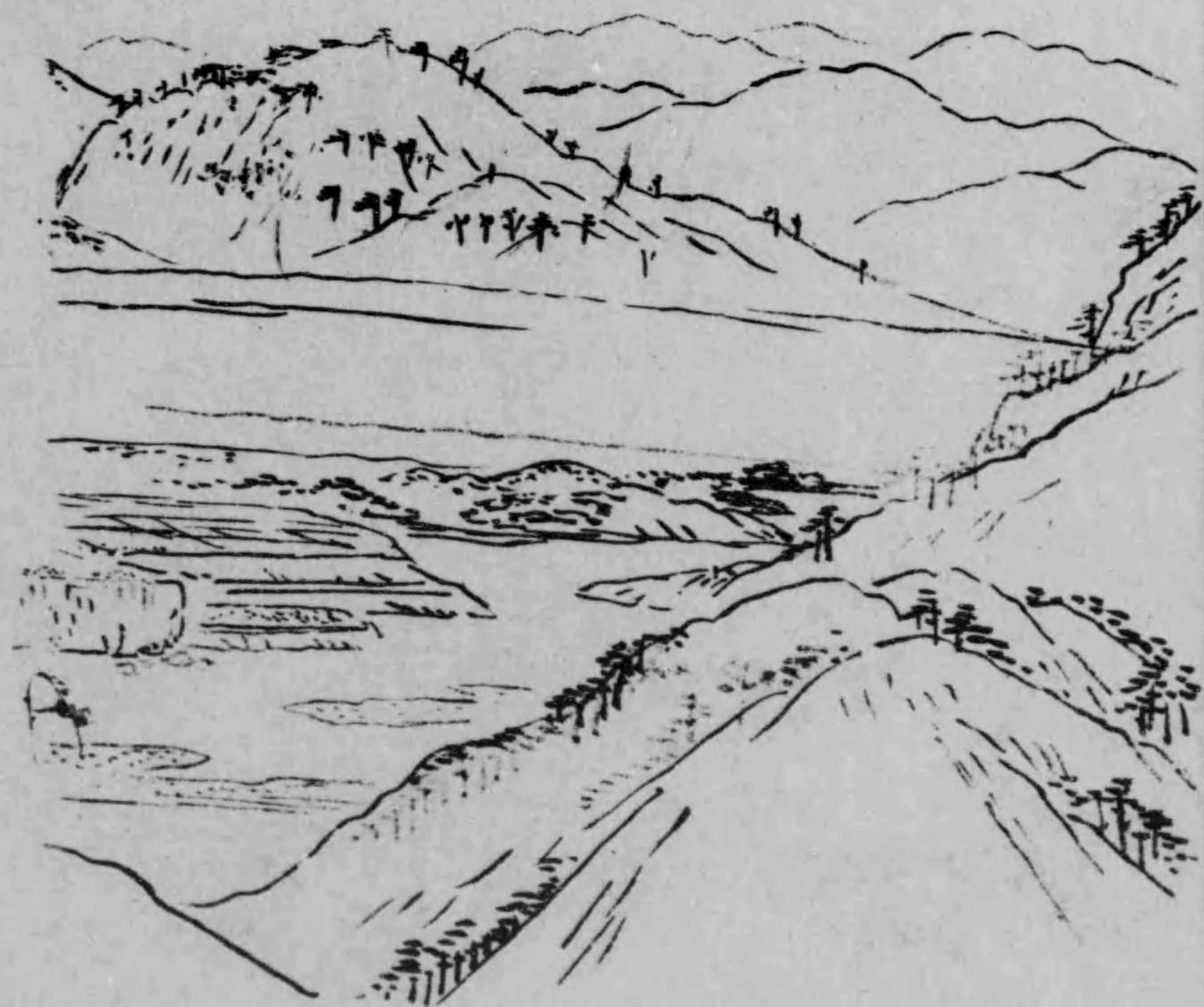


出_レ羽_レ之_レ力_レ後_レト_レ云



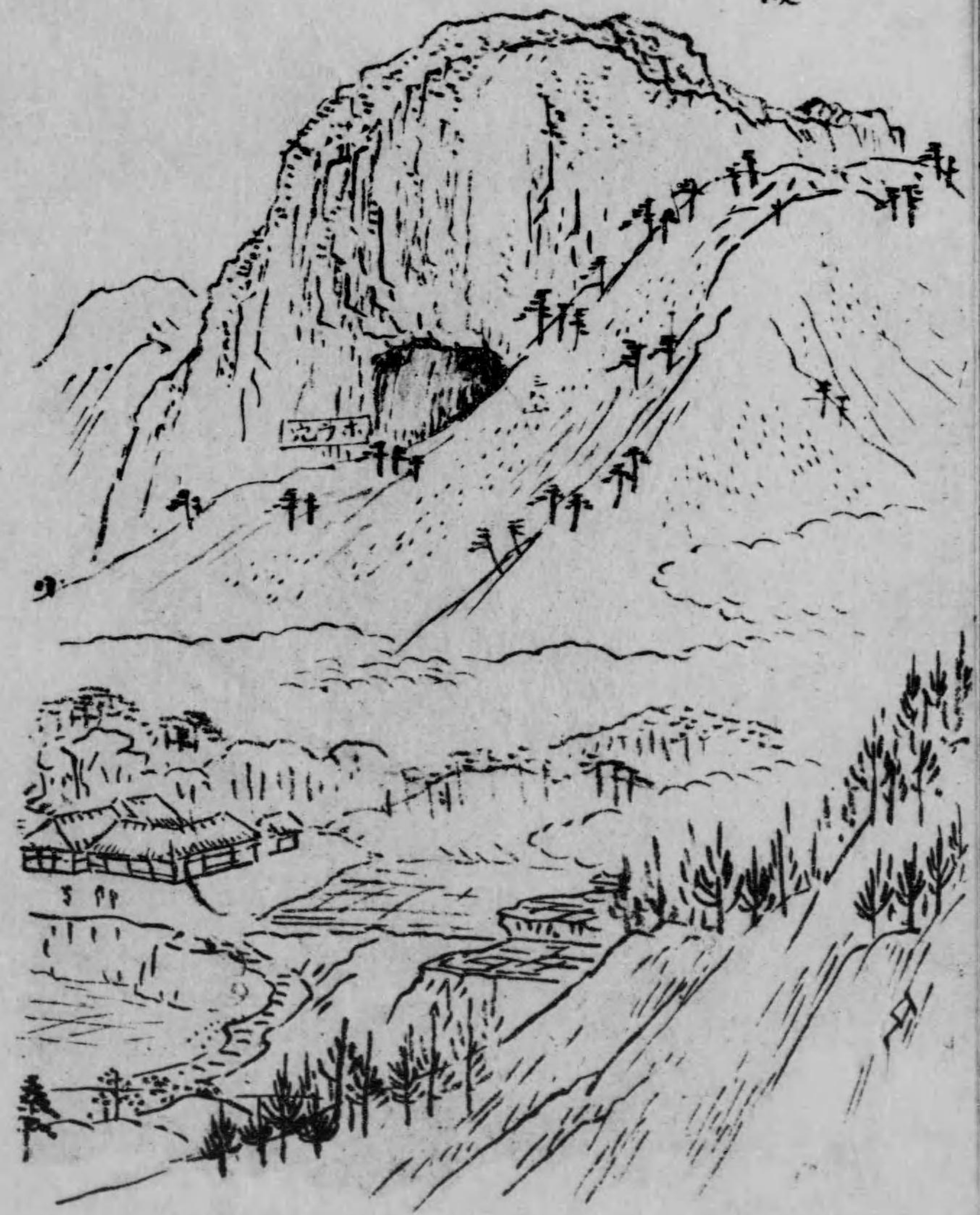


十七日
玉川
米沢園下
越後
境





黒沢
是より越後
海上初見
見ル





寺中

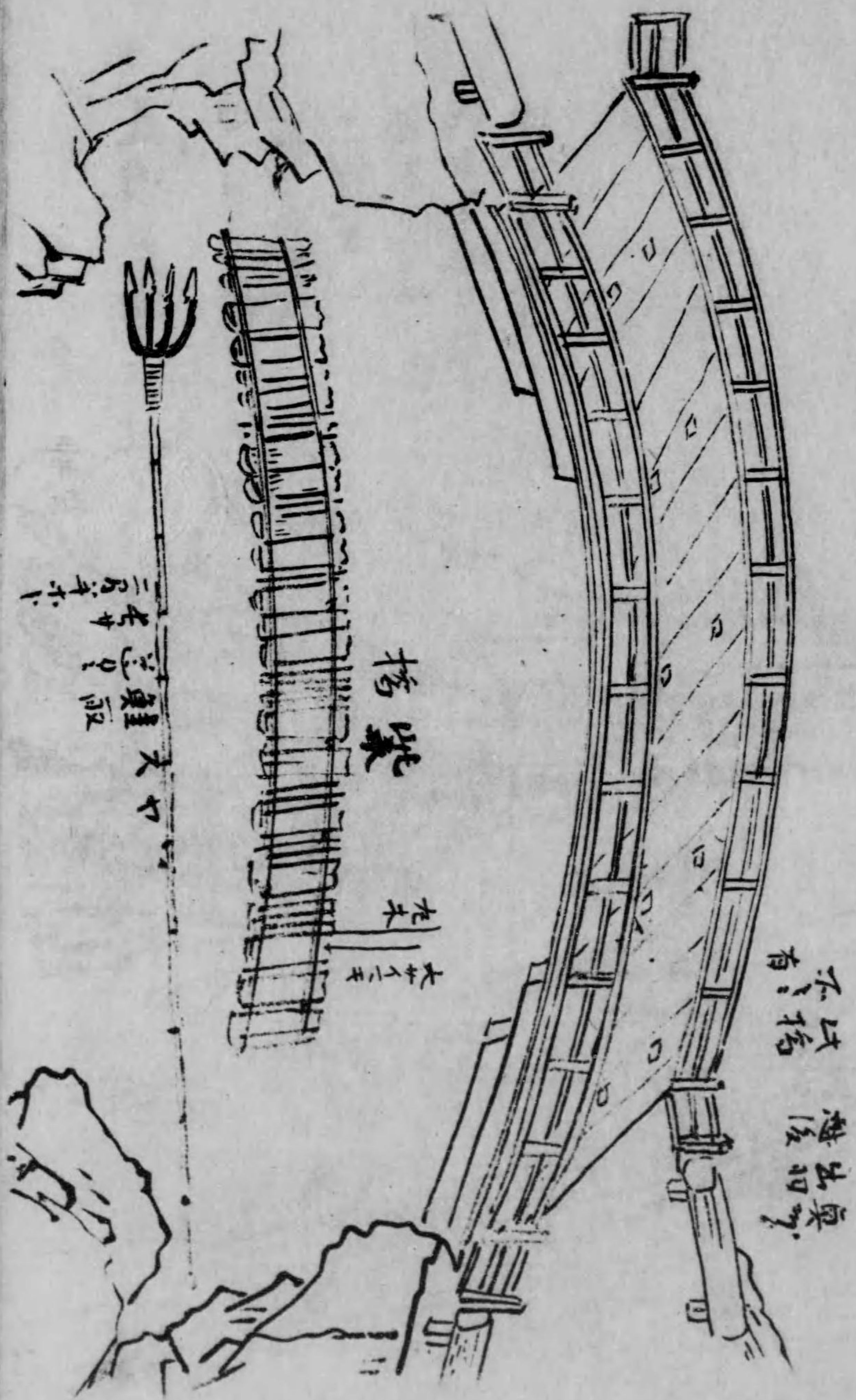
送送

〇〇

〇〇

乙村
乙寶寺
真宗
中丁大田





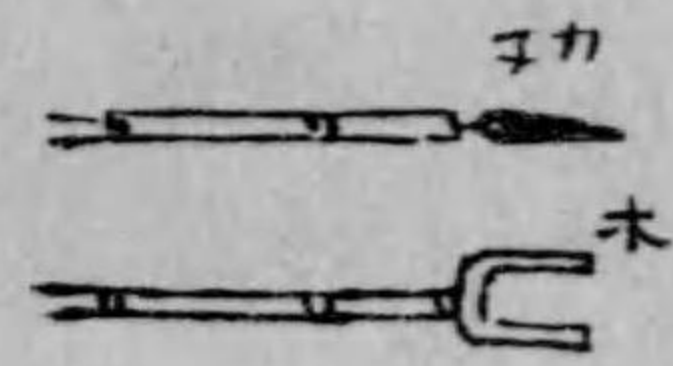
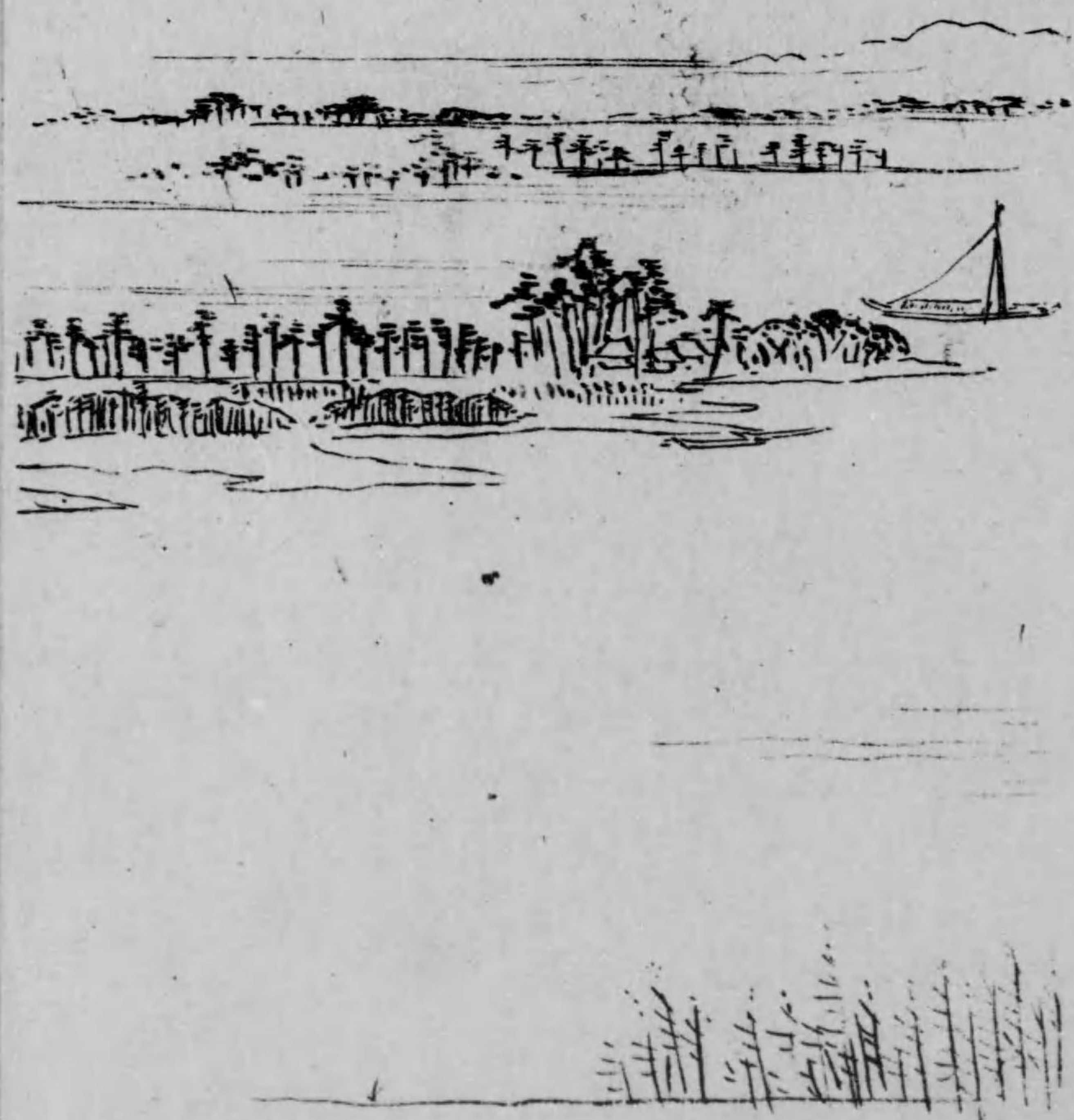
荒川 急流
 貝付ヨリ舟路ニテ
 乙村、着船也
 道、三里
 舟急流ニ陸る 岩石
 浅深を船ニテカシトリ
 忽ニ三里ヲ下ル



家の前より竹又
 芳を以て家まで
 押して置く
 有、川の岸
 三尺の石を
 陣子と作る
 魚網又、枝を
 二、三尺の
 撈子縄を甲へ
 付て福を
 くらして干し



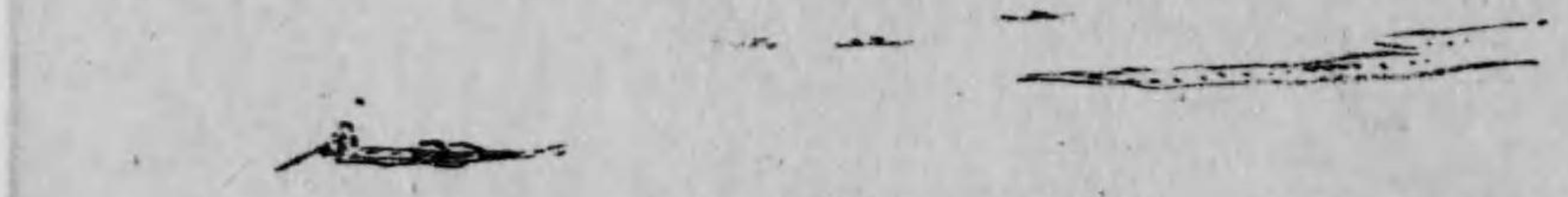
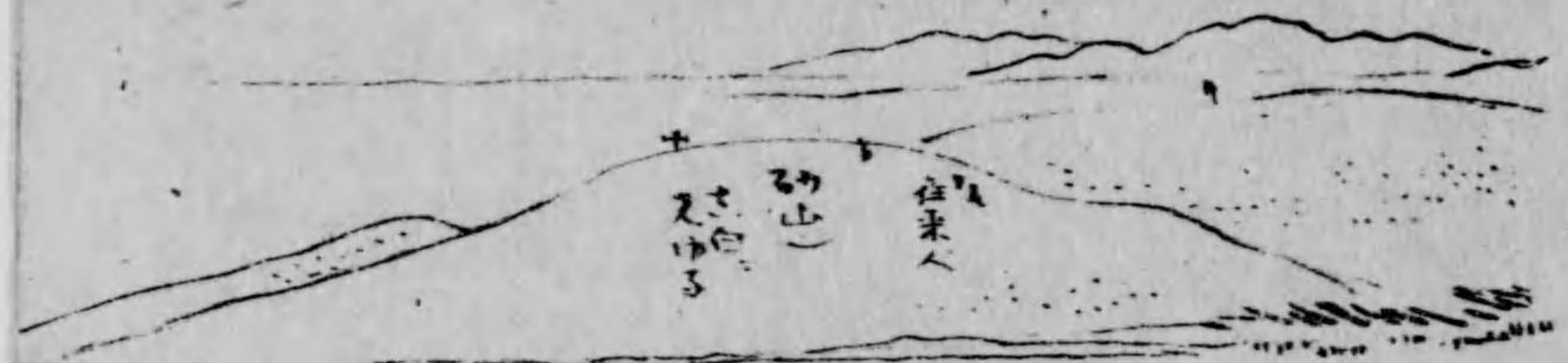
魚網又、家
 運國生婦人



元所より新浮 八月廿九
 舟ニテ行 七里
 カナ川 流静ニテ浅味
 多ニ砂川

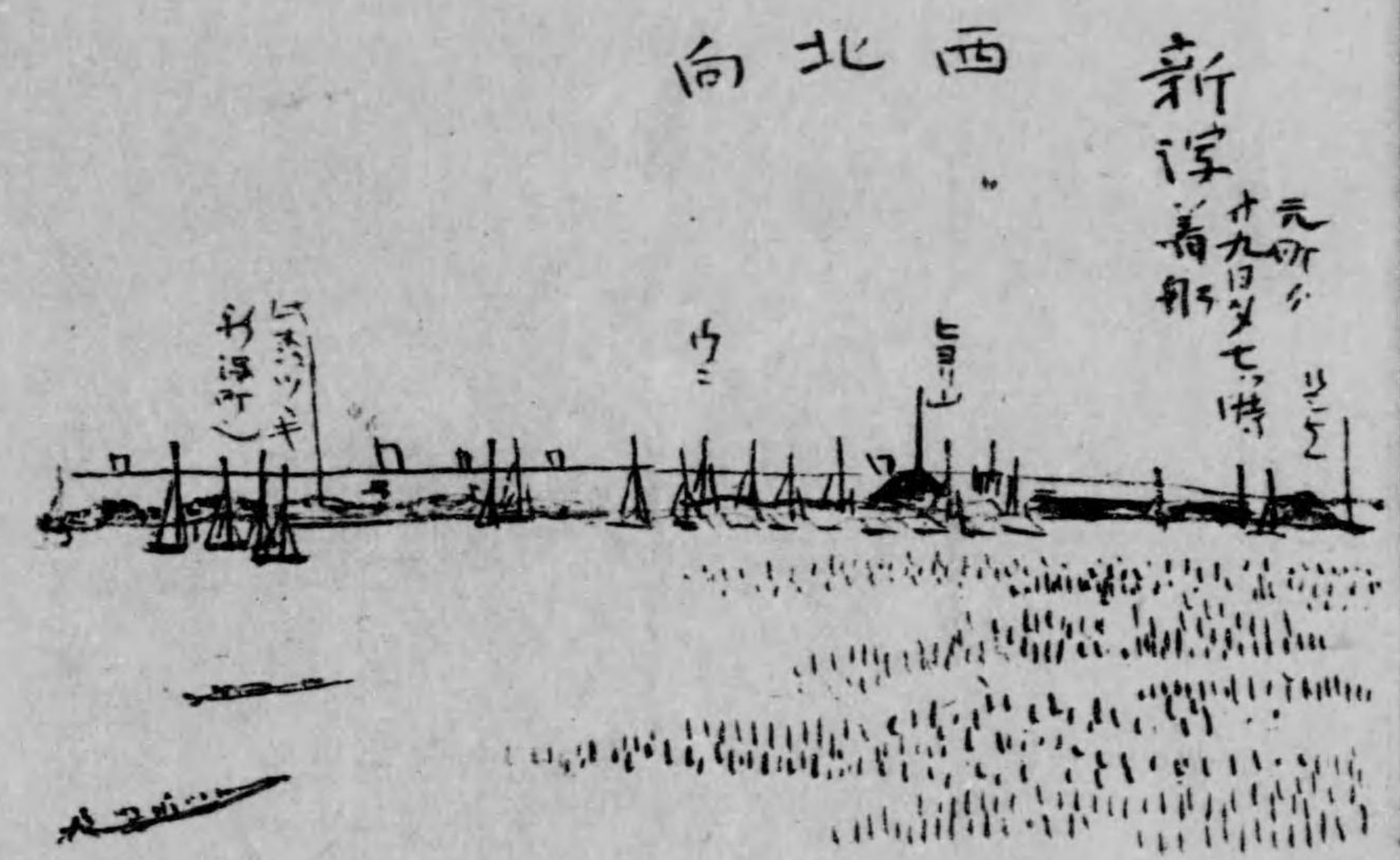
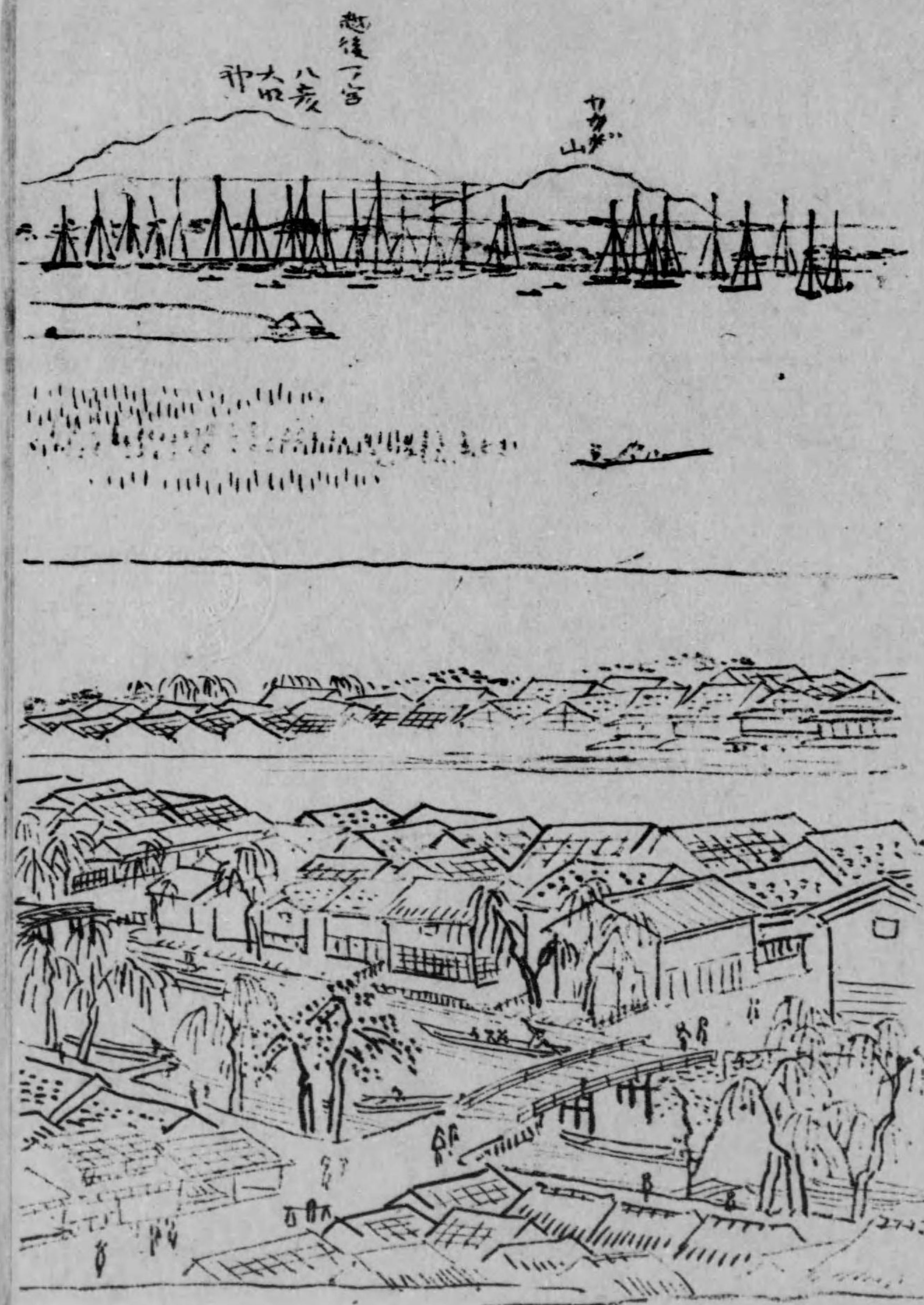
小上元所より方

松寄
 己新場ニテ休
 食衣店一軒有
 酒者亦有
 小徒や一豆
 かきさし
 以不之舟中より
 皆休息人
 川中産し



海



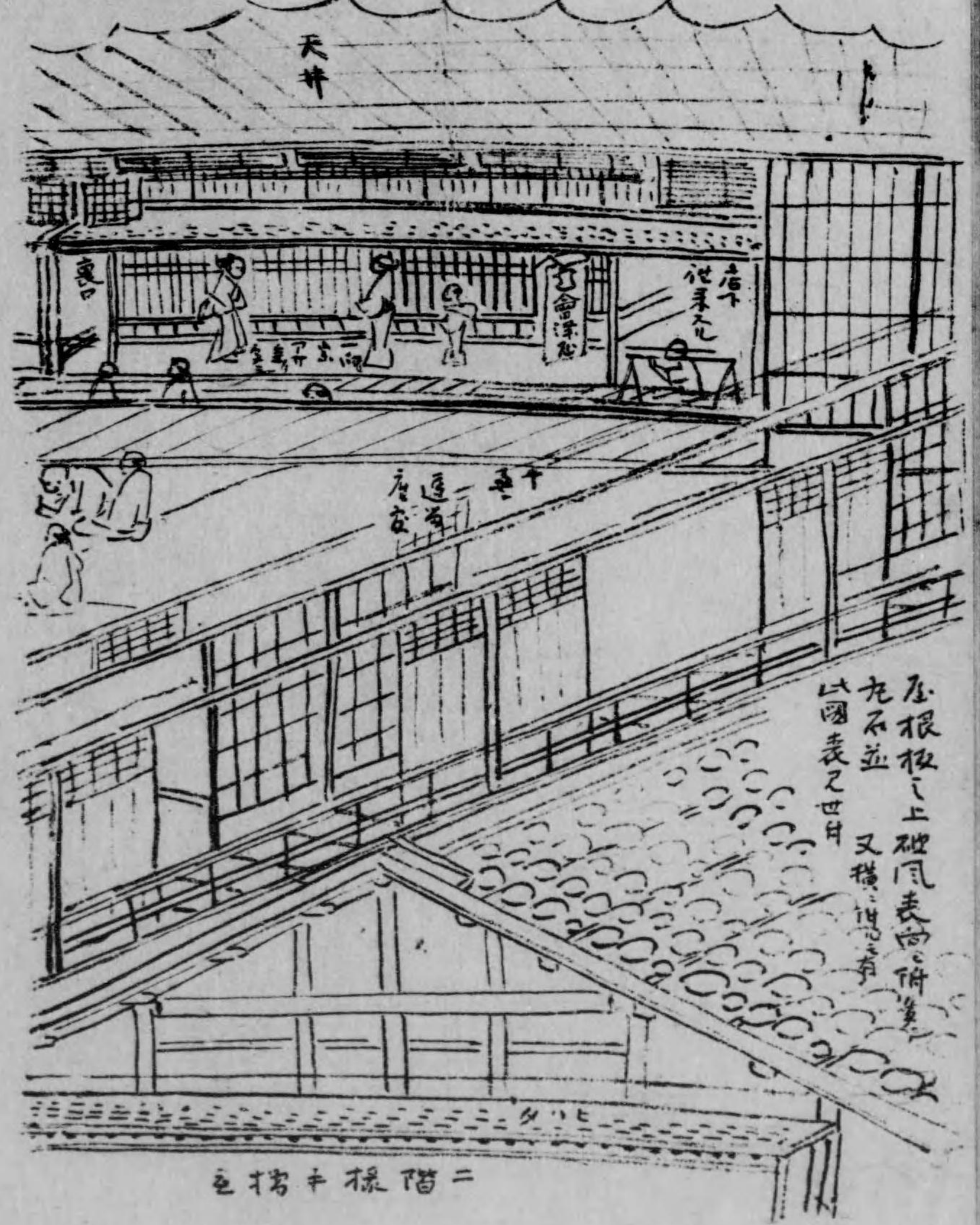


長岡城主
 牧野備前守保元領分
 江戸一百八里
 善光寺八十里
 新浮溪舟路あり地
 陸路諸町あり往來
 あり商人住居東北
 七十九

環珠亭
 二階

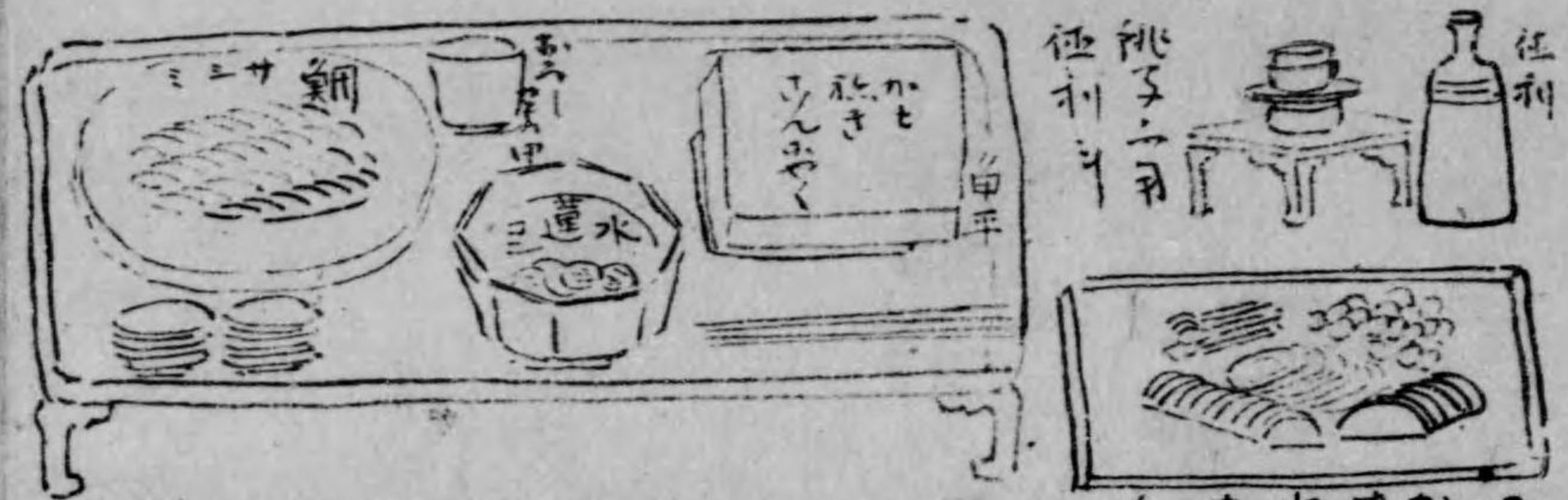


新浮溪
 古町三之丁
 海老屋久助
 橋上之園
 油
 狩中梅菓子屋
 又クメトリ
 三ノノ渡



屋根板は上破風表向に所
 九不並 又横に所
 以圖表之也

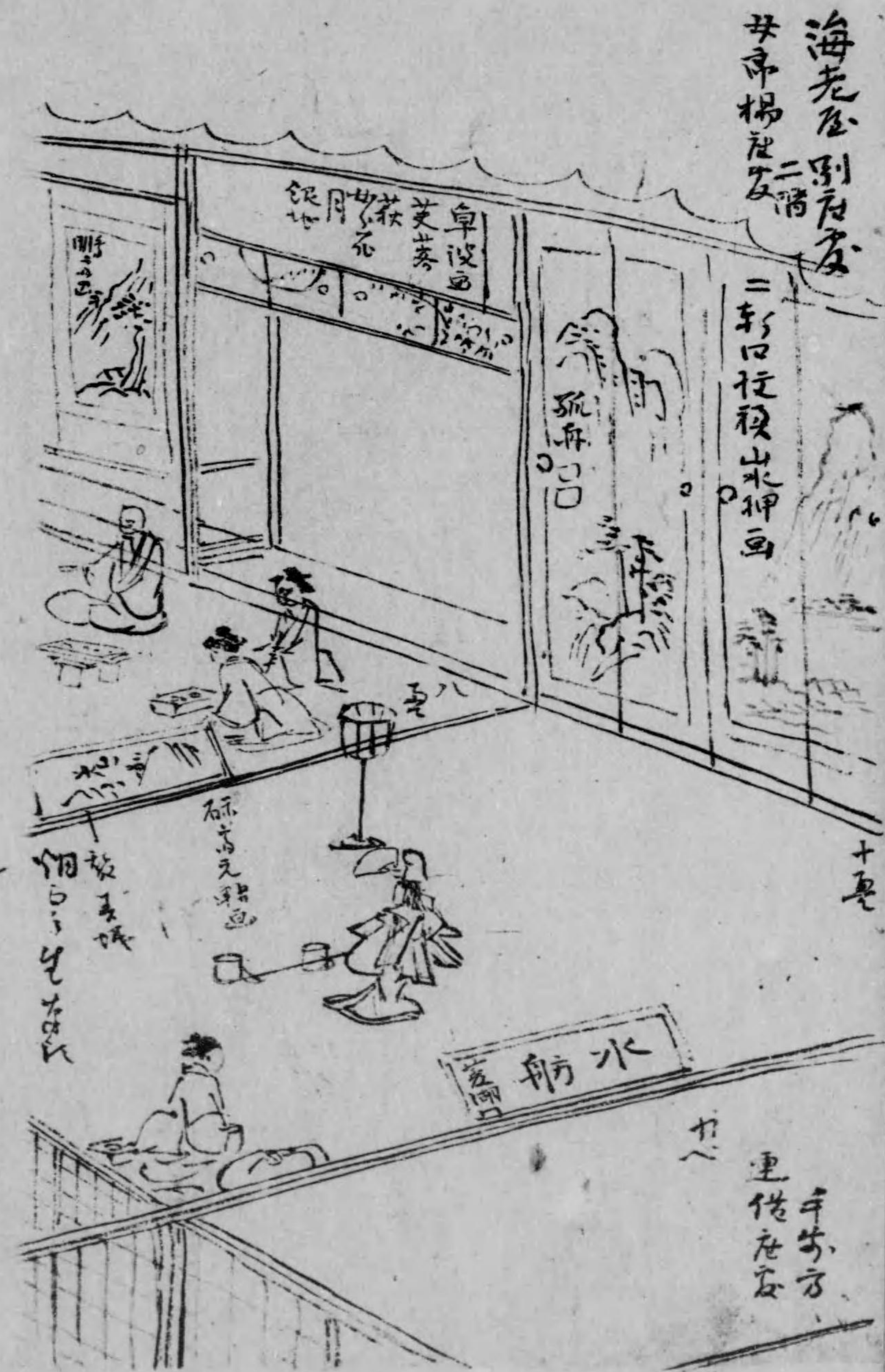
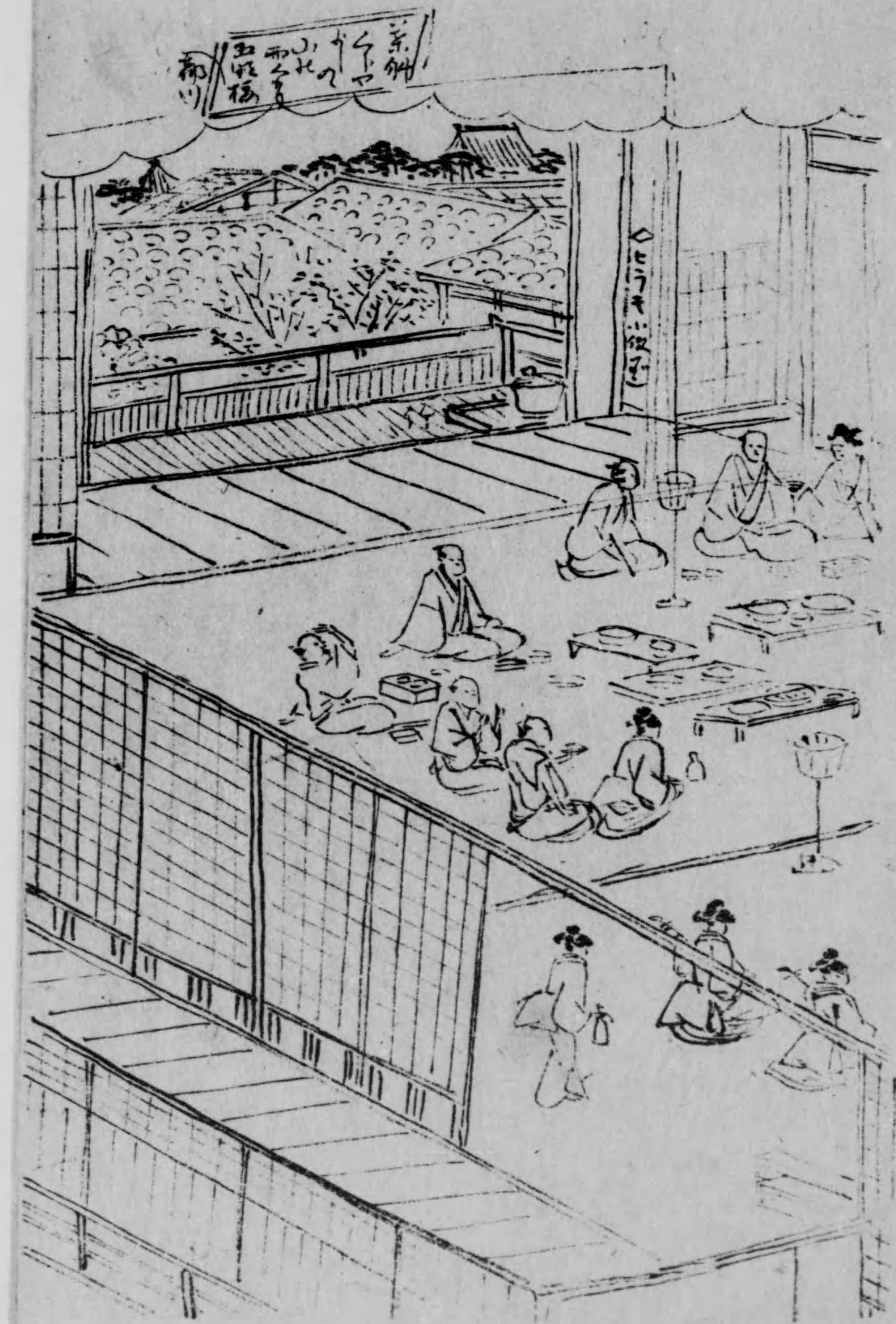
二階中棧之

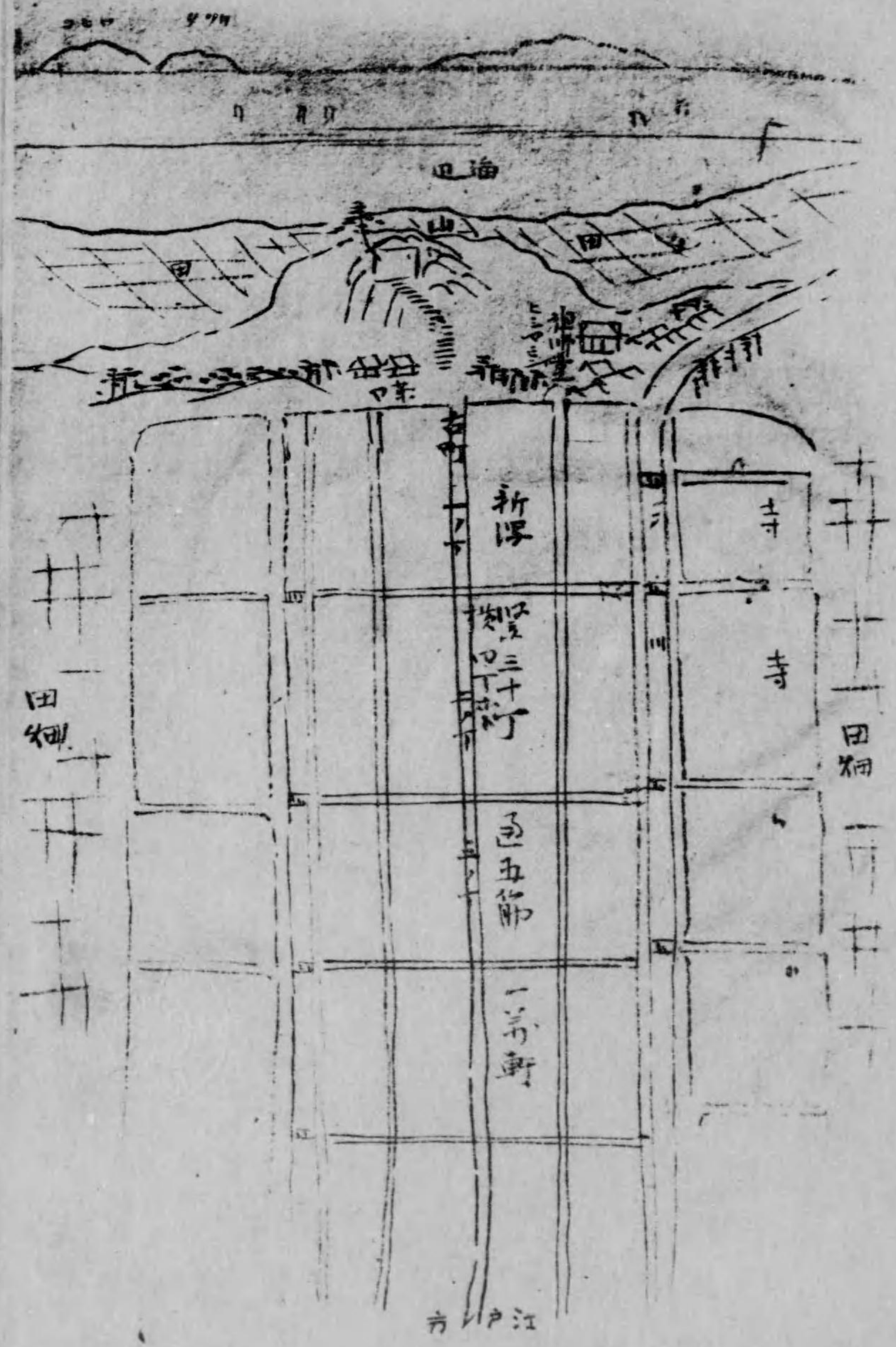


酒一升二百文
 八月末
 鯛 以
 大鰻有
 鴨一羽三寸位
 酒若毛能切
 吸物抗



新海津
 御座人家
 一万五千
 桐金三百兩
 古町
 二之丁
 秋田
 山口
 専任
 榊
 海老心
 會津
 小一
 宮崎
 馬田
 山田
 萩
 御座人家
 一万五千
 桐金三百兩





日和山

日和山上
立角石隊分

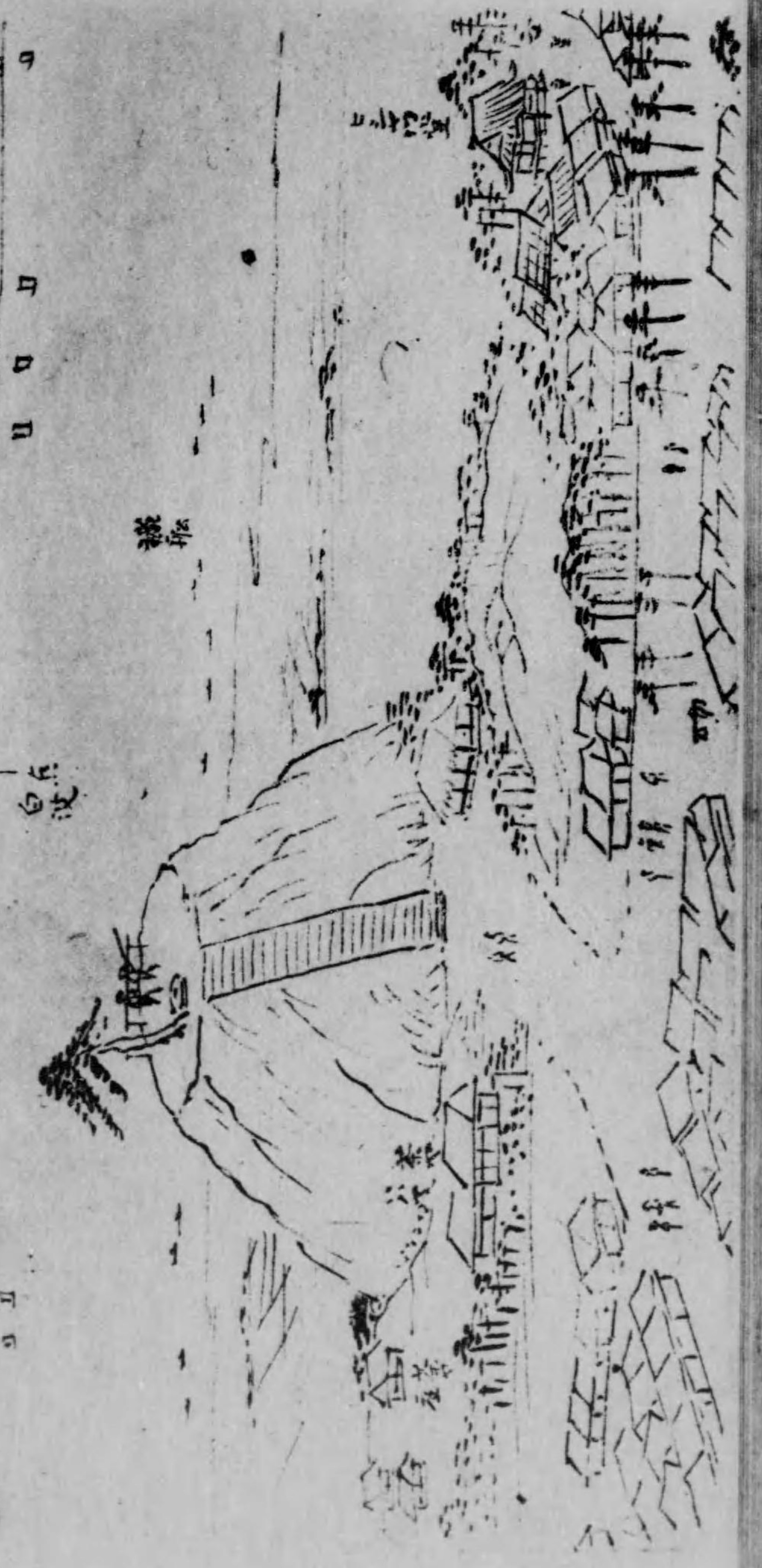


平屋五軒
下依五軒

白点

日和山

日和山



16
251

流水杵の水海一まいあれ
 びくびくのつるやなてとよまて
 つくはる



水杵
 奥
 有



大正十三年八月廿五日印刷
 大正十三年八月廿八日發行
 第三回
 第廿二回

編輯者 東京市牛込區富久町八十四番地
 編輯兼發行者 山田清作
 東京市京橋區銀座四丁目十三番地
 印刷者 淺井鐵造
 發行所 東京市牛込區富久町八十四番地
 米山堂
 電話三三六九

16
257

終

